

3月

新着本の紹介



予約の受付は、配架する**3月1日、午後1時**からです。

青字は児童書

書名	著者名	内容
ドミノin上海	恩田 陸	上海のホテル「青龍飯店」で、25人（と3匹）の思惑が重なり合う。もつれ合う人々、見知らぬ者同士がすれ違うその一瞬、運命のドミノが次々と倒れてゆく。圧巻のエンタテインメント。
イマジン?	有川 ひろ	想像力は、あるかい？憧れの映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助。聞き慣れない業界用語が飛び交う現場に戸惑う日々だが、そこは現実と物語を繋げる、魔法の世界だった。「有川浩」改め「有川ひろ」の、お仕事小説&ベタ甘ラブコメ。涙と笑顔と元気が湧いてくる、待望の最新小説！
紙鑑定士の事件ファイル 模型の家の殺人	歌田 年	どんな紙でも見分けられる男・渡部が営む紙鑑定事務所に、「神探偵」と勘違いした女性が浮気調査の依頼にやって来る。一枚のプラモデルの写真を手がかりに意外な真相にたどり着いた渡部。次に妹を捜す女性が訪ねてきて…。 『第18回このミステリーがすごい!大賞』大賞作
猫君	畠中 恵	20年生きた猫は、人に化けて言葉を操る妖怪「猫又」になる。將軍様の庇護のもと、江戸城内の学び舎「猫宿」で修業に励む新米猫又のみかんたち。猫宿の長は、魔王と呼ばれたあの戦国武将で…。
線は、僕を描く	砥上 裕將	両親を事故で失い、喪失感の中にあった大学生の霜介は、バイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山と出逢った。なぜか湖山に気に入られた彼はその場で内弟子にされてしまうが、湖山の孫・千瑛は、それに反発し…。 『第59回メフィスト賞』 『2020年本屋大賞ノミネート作』
店長がバカすぎて	早見 和真	谷原京子、契約社員、時給998円。店長が、小説家が、弊社の社長が、営業がバカすぎて「マジ辞めてやる！」でも、でも…。本を愛する書店員の物語。 『2020年本屋大賞ノミネート作』

<p>ムゲンのi 上</p>	<p>知念 実希人</p>	<p>眠りから醒めない謎の病気・イレスの患者を抱えた愛衣は、魂の救済〈マブイグミ〉をするしかないと知る。愛衣は霊能力者の祖母から受け継いだ力で、マブイグミに挑む。</p> <p>『2020年本屋大賞ノミネート作』</p>
<p>ムゲンのi 下</p>	<p>知念 実希人</p>	<p>次々とマブイグミを成功させる愛衣は、患者のトラウマが頻発する猟奇殺人と関係があることに気付く。その事件は23年前の少年Xによる通り魔殺人とも繋がっている。</p> <p>『2020年本屋大賞ノミネート作』</p>
<p>流浪の月</p>	<p>凧良 ゆう</p>	<p>愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。</p> <p>『2020年本屋大賞ノミネート作』</p>
<p>medium 霊媒探偵城塚翡翠</p>	<p>相沢 沙呼</p>	<p>推理作家として難事件を解決してきた香月史郎は、心に傷を負った女性、城塚翡翠と出逢う。彼女は霊媒であり、死者の言葉を伝えることができるが、そこに証拠能力はない。一方、巷では姿なき連続殺人鬼が人々を脅かしている。</p> <p>『2020年本屋大賞ノミネート作』</p>
<p>もしものせかい</p>	<p>ヨシタケシンスケ</p>	<p>もしものせかいは、きみのこころのなかにある、もうひとつのせかい。きみにとってとてもだいじなものが、もしものせかいにいって、もどってこないとき、とてもつらいかもしれないけれど、だいじょうぶ。なぜなら…。</p>

※NHKテレビテキスト

「きょうの料理」「すてきにハンドメイド」「きょうの健康」も貸し出ししています。

